

# 京都の Hollywood News 通信

## あなたもきつと人が好きになる...

### 山本周五郎短編集・完全映画化!

女手ひとつで4人の子供を育てるお勝(野川由美子)の姿に強盗が押し入るが...



近所の漁人・鳴海(本田博太郎)は強盗の勇吉(瀧島典俊)とお勝一家の交流を温かく見守る



最近では黒沢明の遺稿を映画化した「雨あがる」の原作者・山本周五郎の短編集時代小説が、京都で映画化される。製作は京都の松竹京都映画撮影所と、大阪の井上企画。井上企画は人間問題映画を主に製作してきたフロダクションで、代表の井上綾子プロデュサーが、10年来温めて来た念願の企画。

そのお勝(野川由美子)は強盗に入って来た青年(瀧島典俊)を諭して、あろう事か家族同様にして同居させる。孤独だった青年の荒んだ心は、お勝の家族愛に触れて次第に知んで行くという内容。出演は他に織本順吉、本田博太郎ら。監督は「必殺シリーズ」で華麗な映像美を紡ぎ出した名カメラマンでもある石原興。第2弾は久野正平、橋爪淳主演「泥棒まで。現代人が忘れた家族愛など、人にとって大切なものをい出させてくれる、珠玉の作品に仕上がっており、見た人の心を清々しく洗い流す事、間違いない!



オナーの井延美英子さん。若い映画人の心強いお袋さんだ

### 自主映画に強い味方！ 仕上げ予算が半額以下



フロダクションだけに様々な設備。ご主人が集めた生の効果音ライブラリーは文化遺産と呼んでも差し支えない現物さだ



シネマサウンズフロダクションは大塚通り商店街中程に位置。8ミリフィルムをビデオに変換するテレビシネサービスもあり。問い合わせは 075・871・6631

せっかく撮影したフィルムも、そのままでは映画にならない。編集と、効果音など記録するタビソングなどの仕上げ作業をしなければならぬ。自主映画を製作する若手映画人にとって、頭が痛いのが、その仕上げの経費。ただでさえ予算の少ない自主映画にとって高額の仕上げ経費の出は難問だ。そこに救いの手を差し伸べたのがシネサウンズフロダクション。何と料金を通常の半額以下に設定。オナーの井延美英子さんが「学生さんたちの映画作りをお手伝いしたい」と、この4月から踏み切った。

同スタジオは井延さんのご主人が、京都の映画撮影所から独立した29年前に設立。8年前にご主人が亡くなった後は、ご主人の知人で東映京都撮影所に勤めていた浜口十四郎さんが技術面を引き継ぎ、井延さんはオナーとして若手映画人の応援をされている。「昔は作品も多く、徹夜の連続でした。若い人が頑張っていて、映画に活気が戻れば嬉しいんですが」と希望を込めて語る井延さん。強い味方の登場に、京都の映画界の未来は明るい!

# くノ一修行でビューティアップが毎日?

記憶に新しいとて、昨年下B系で放映された木村拓哉・常盤貴子主演のドラマ「ビューティフルライフ」で、常盤演じる町倉の親友で、最後には存子の兄・正夫の妻となる田村正和を演じた女優、水野美紀。他に「頭脳大捜査線」「サライアーズ全盛期」「HOTEL」そして田村正和と共演の最新作「オキザイ」と、その出演作留歴は数々たるヒットドラマがあり。どれも名脇役ばかりを遺憾なく発揮している。その水野美紀の女優の原動力は何か? 意外な事実を密着者の皆様と共有して見ようか?



第1作「くノ一忍法帖」水野美紀の役はくノ一お嬢セツ子。今作は「くノ一忍法帖」のハードなアクションは見事!



第2作「くノ一忍法帖・聖少女の秘宝」第1作とは関係性は無い。今回の水野美紀はくノ一お母として登場、殉戦する

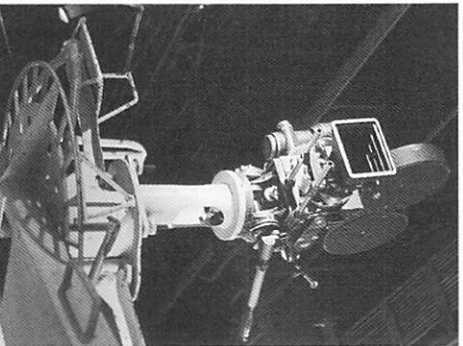
の第1作と2作に、若干17歳の水野美紀が出演。それもアタマもセクシーなくノ一役なのだ! 当時の水野美紀は現在、長瀬剛夫であるアキコと名乗る志穂美咲子の再来として売り出しており、くノ一姿でハイドナタタキョウに挑戦している。ストライクこそないが、若きがはちきれるくノ一姿は、なかなかの健康美。現在の地位も京都のくノ一修行者があってこそと納得。「くノ一忍法帖」シリーズはキンクレコトドよりビデオ・DVDが発売中。もちろん全国でレンタル店でも好評レンタル中だ!



'96年の劇場版では大西結花がくノ一のリーダーを演じた

# オーディオとキネマの時代展

日本のハリウッド・京都の映画黄金称を素料としたNHK朝の連続ドラマ「オーディオ」も好評映の最中、まさにその舞台である京映太楽映画村にて「オーディオとキネマの時代展」が開催されている。会場では「オーディオ」の時代背景である昭和全盛の町並みやドラマのセット、出演者の衣装の他、当時の撮影機材を展示。その中で注目なのが、衣装と共に展示されたシロ口を映画「スター」。一見すると往年の時代劇のものと思えるが、実はドラマ用に作られた小道具で、まったく祭事の映画「スター」なのだ。ドラマに登場する大京映の2大スター、桃剣の助・連続主ケン(林与一)と悪徳幸太郎・連続クキキ(舟木天)の主演映画「スター」という設定がブレイクされており、羨望と心よる、「ごだわりの逸品」なのだ。本展は来年3月3日まで開催。



展示された「オーディオ」出演者の衣装。町並みやセットも再現されている



主モケンとクキキ主演の京映映画「スター」(上)。往時を知る時代劇ファンには堪らないデサイン



映画黄金期の主役・ミツチエは撮影機、その「サイキム」重層感はまさしく映画カメラの代名詞

# 今月の冒険

小説の執筆に頭を悩ませる中、次々と来る仕事の準備に、資料本を読まなければならない。読書の秋のためには何か変えよう。2009年12月1日 山田誠二

責任編集人 山田誠二  
1963年生まれ。京都生まれ。京都の雑誌編集者。脚本、評論など多方面で活躍の作家。映画関連著作多数執筆。

